

Biocontrol Science の投稿先が 8 月 1 日より変更になります

《Biocontrol Science 投稿及び新編集体制のご案内》

食品、医薬品、医療、各種材料、環境における微生物の制御は、微生物の管理・検出、殺菌・保存や汚染・劣化防止だけでなく微生物の有効利用にも及び、21 世紀のバイオテクノロジーにおける重要課題の一つと予想されます。この分野の科学技術の発展への一層の貢献を期すとともに、関連領域の研究者の相互の学術交流を図ることを目的として、日本防菌防黴学会では平成 8 年 12 月より英文学術雑誌、「Biocontrol Science」を刊行しております。

○編集委員

Editor-in-Chief 福崎 智司 (三重大学) / Editor-in-Vice Chief 澤井 淳 (神奈川工科大学)
古畑 勝則 (麻布大学)・三好 伸一 (岡山大学) / Editor 泉 秀実 (近畿大学)
上田 成子 (女子栄養大学)・河原 秀久 (関西大学)、佐藤 順 (東洋大学)
高鳥 浩介 (NPO 法人カビ相談センター)・藤川 浩 (東京農工大学)・古田 雅一
(大阪府立大学)・前田 拓也 (兵庫医療大学)・前田 広人 (鹿児島大学)・松岡 英明
(東京農工大学)・松村 吉信 (関西大学)・宮本 敬久 (九州大学)・森 美穂 (近畿大学)

○掲載分野

①微生物制御に関連した食品微生物学、医薬微生物学、環境微生物学、微生物生態学、②微生物細胞のストレス応答、損傷・修復・適応、③微生物の迅速、高感度、自動化検出法および測定法と制御効果の評価法、④殺菌剤・静菌剤の化学合成、殺菌・抗菌活性、作用機構、⑤天然由来抗菌性化合物、⑥殺菌、消毒、洗浄、衛生、⑦制御機構、⑧制御技術、装置、システム、⑨食品、医薬品、木材、水、廃棄物、繊維、工業材料、建築物、塗料、油、潤滑油、金属、ゴム、プラスチックなどの生物劣化と保存、⑩生物汚れとバイオフィーム、⑪細菌、真菌、ウイルス等による汚染と感染、⑫生分解、生物環境修復 (バイオレメデーション)、微生物農薬とその他の微生物利用技術、⑬生物生産のプロセス制御と発酵制御、⑭バイオハザードとその制御、⑮微生物とその活性の保存

○新編集体制

- ① 投稿の受付・査読・掲載は、これまでの委員長 1 名体制から、委員長 1 名、副委員長 3 名の 4 人体制に変更になりました。なお、投稿はこれまでどおり、委員長が受付けます。
- ② 委員長が交代しましたので、投稿原稿の送り先は、**8 月 1 日より**下記までお願いいたします。
- ③ 投稿原稿は、すべて電子媒体で受け付けることになりました。詳細は、英文誌投稿規定を参照ください。

投稿のご案内

会員の皆様には、奮ってご投稿くださるようお願い申し上げます。投稿規定・要領は日本防菌防黴学会誌 (掲載号) 若しくはホームページをご覧ください。

本誌は Biological Abstracts や Microbiology Abstracts など海外の著名なインデックス誌、アブストラクト誌に採用、掲載されています。また、現在 PubMed のサイトに掲載されるとともに、J-Stage 上に随時アップされています。本誌の 2016 年度のインパクトファクター (IF) は、0.743 (過去 5 年間の IF は 0.839) でした。なお、投稿は本学会の会員に限ります。



◇投稿原稿

送付先：Biocontrol Science 編集委員会

biocontrol-sci@saaaj.jp 福崎 智司 (三重大学大学院生物資源学研究所)

◇最終原稿 (電子媒体原稿)

送付先：日本防菌防黴学会事務局 (担当：木村隼人 h.kimura.saaaj@nifty.com) 宛

TEL 06-6538-2166 ; FAX 06-6538-2169